

|      |                    |                      |      |
|------|--------------------|----------------------|------|
| 授業科目 | 地域医療合同セミナー3 (自由選択) | 3 学年・通年・1 単位 (15 時間) |      |
|      |                    | 全学科                  | 自由選択 |

|         |  |                 |    |
|---------|--|-----------------|----|
| 科目担当責任者 | 杉村 政樹 (医療人C 教育開発研究部門 教員室<br>(教育研究棟 D709 号 ; 内線 23660/23720) )<br>e-mail : sugimura@sapmed. ac. jp  | 非常勤講師<br>連絡担当教員 |    |
| 担当教員    | 相馬 仁、磯山 響子(医療人育成センター 教育開発研究部門)   |                 |    |
| 概要      | 本科目は、医学部との合同カリキュラム(多職種連携教育科目)であり、1・2 年次に開講された「地域医療合同セミナー1・2」の積み上げ科目である。「地域密着型チーム医療実習」に向けて、北海道の地域医療におけるシステム理解と連携について学ぶと同時に「地域包括ケアシステム」「北海道地域医療構想」についても学修する。「地域密着型チーム医療実習」では医学部・保健医療学部の学生が混成チームを組み、モデル地域(根釧地区、留萌地区など)に滞在し、実習を行う。また、地域に在住する住民をケースとして健康づくりにおける支援策を検討する。  |                 |    |
| 到達目標    | <p>学修到達目標(コンピテンシー)は以下のとおりである。</p> <p>1. 「システムに基づいた地域医療を展開するために必要とされる基本的な知識・態度を習得し支援できる」</p> <p>①北海道が抱える地域医療の課題を理解し、地域における健康課題に対し介入方法を考案できる。<br/>②地域で暮らす様々な健康レベルにある人、その家族の生活について理解し、支援する方策を考えることができる。<br/>③地域社会を健康の視点から捉える方法論を説明できる。<br/>④地域で暮らす人々の健康を支える資源・システムの概要を説明できる。<br/>⑤ヘルスプロモーションの理念および地域の健康を推進する方策を提示できる。</p> <p>2. 「パートナーシップを形成する基本的姿勢を習得し実践できる」</p> <p>①他者と基本的な信頼関係を構築できる態度を示すことができる。<br/>②自己の専門性および他職種の役割を認識し、チーム医療の重要性を認識できる。<br/>③地域で暮らす人々と対話するスキルを習得し、実践できる。<br/>④地域医療におけるパートナーシップのあり方について自己の意見を発言することができる。</p> <p>3. 「能動的な学修態度を獲得し実践できる(自己主導型学習)」</p> <p>①小グループでの学習を通じて、チームメンバーと協調しながら自己の意見を述べるができる。<br/>②課題に対して関心を持ち、能動的に学ぶプロセスを体験し、自己主導型学習を実践することができる。</p> |                 |    |
| 関連科目    | 地域医療合同セミナー1・地域医療合同セミナー2・地域医療合同セミナー4  |                 |    |
| 評価      | 評価対象   | 評価割合(%)         | 備考 |
|         | レポート   | 30%             |    |
|         | 成果発表   | 20%             |    |
|         | その他  | 50%             |    |
| 教科書     | ①指定しないが「評価方法」の備考を参照すること  |                 |    |
| 参考書     | <p>①磯部 光章 [2011] 「話を聞かない医師 思いが言えない患者」 集英社(新書)</p> <p>②中根 晴幸 [2016] 「次代を担う医療者のための地域医療実践読本」 幻冬舎</p> <p>③自治医科大学(監修) [2009] 「地域医療テキスト」 医学書院</p> <p>④里見 清一 [2015] 「医者と患者のコミュニケーション論」 新潮社(新書)</p> <p>⑤厚生統計協会 [最新号] 「国民衛生の動向」 厚生統計協会</p>  |                 |    |
| 履修上の留意点 | <p>【予習】</p> <p>・地域において患者ケアに参加し得る医療資源と専門職を医療・看護・介護の面から調査すること。</p>   |                 |    |

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療チームにおける各職種の役割を理解すること。</li> </ul> <p><b>【復習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習で得られた知識・経験をまとめ、ふりかえりや報告会発表に反映させること。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域医療合同セミナー1 および2」を受講してきた学生は本科目の受講を勧める。</li> <li>・実習の準備および実践は一部のメンバーだけに任せないこと。グループ全員が行い知識を共有する必要がある。(演習参加への姿勢・態度についての評価の比重が高いため留意すること)</li> <li>・COVID-19 の状況により、シラバスの変更を行うことがある。その場合は、あらかじめ履修学生に提示・説明するものとする。</li> </ul> |
|--|--|

| 実施回 | 内 容                                | 事前・事後課題            | 形態    | 担当教員 |
|-----|------------------------------------|--------------------|-------|------|
| 1   | コースオリエンテーション                       | -                  | 講義    | 杉村   |
| 2   | 地域医療の現況 道北医療圏                      | 学生サポートシステムより別途通知する | 講義・演習 | 〃    |
| 3   | 地域医療の現況 道南医療圏                      | 学生サポートシステムより別途通知する | 〃     | 〃    |
| 4   | 地域における疾患～転倒の予防：運動器症候群～             | 学生サポートシステムより別途通知する | 講義    | 〃    |
| 5   | 地域医療の現況 道東医療圏(釧路・根室)               | 学生サポートシステムより別途通知する | 講義・演習 | 〃    |
| 6   | 地域医療の現況 道央医療圏(日高)                  | 学生サポートシステムより別途通知する | 〃     | 〃    |
| 7   | 地域医療の現況 オホーツク医療圏(遠紋)               | 学生サポートシステムより別途通知する | 〃     | 〃    |
| 8   | 医療従事者の確保                           | 学生サポートシステムより別途通知する | 演習    | 〃    |
| 9   | 地域医療の現況 札幌医療圏                      | 学生サポートシステムより別途通知する | 講義・演習 | 〃    |
| 10  | 地域活動と疾患                            | 学生サポートシステムより別途通知する | 〃     | 〃    |
| 11  | Narrative Based Medicine と医療者による面接 | 学生サポートシステムより別途通知する | 〃     | 〃    |
| 12  | Narrative Based Medicine の導入       | 学生サポートシステムより別途通知する | 〃     | 〃    |
| 13  | 高齢化と内科疾患                           | 学生サポートシステムより別途通知する | 講義    | 〃    |
| 14  | パラレルチャートと医療倫理                      | 学生サポートシステムより別途通知する | 演習    | 〃    |
| 15  | 総括とレポート提示                          | 学生サポートシステムより別途通知する | 〃     | 〃    |